

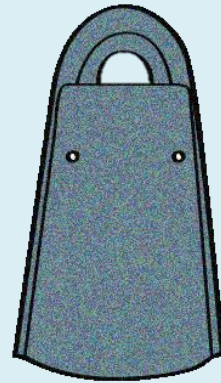
弥生時代のむらー金属器

日本において金属の使用がはじまったのが弥生時代です。
当時、「鉄」と「青銅」の2種類の金属器が使用されています。

弥生時代に使われた金属器



鉄器
(主に実用品)



青銅器
(主に祭祀用)

鉄器は主に実用品、例えば農作業や木の伐採・加工のための
道具、やじりや剣といった武器に使用されます。

青銅器は、銅鐸や銅剣・銅矛などの祭祀の道具として使用されました。

いずれも石川県においては弥生時代中期にやってきましたが、
最初は数が少なく、一般的に利用されてはいなかったようです。

ポイント

石器より性能が良い鉄器が弥生時代から登場します。
しかし、石器がすぐに使われなくなったわけではなく、
石器から鉄器へと徐々に移り変わっていったと考えられます。